

沖永良部島 昇竜洞水系上流「悠景洞」測量報告

飯田暁 (IIDA, Satoru 帰水会所属 山口県在住)

1. はじめに

悠景洞は鹿児島県大島郡知名町、沖永良部島ゴルフクラブのゴルフ場内に開口する華垂洞から分岐する。昇竜洞水系に属する洞窟である。2005年12月8日、浦田健作・飯島康夫（八千代エンジニアリング）・池田忠広・大塚裕之（以上鹿児島大学理学部地球環境科学科）の4名が鹿化石調査のために華垂洞の洞口から入洞した際、1973年の秋吉台科学博物館・山口大学・佐賀大学による測図にはない支洞を発見し、探索した。支洞内は部分的に入洞者の痕跡が見られたが、奥部は未調査であった。この探検の際、煙突効果による空気の流れを追跡することによって、昇竜洞水系の最上流に位置する未知の洞口に通じる洞窟を発見した。これを受け、山口大学洞穴研究会が2006年9月に測量調査を行い、本洞窟を悠景洞と名付けた。



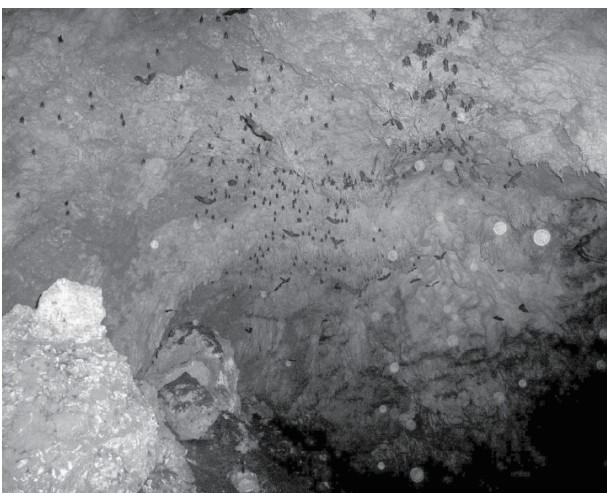
華垂洞の洞口（ゴルフ場内）



新洞口



床を覆うグアノ



コウモリのコロニー



ホールで見られた生成物